RWANDA A Karisimbi Coffee Washing Station

Karisimbi

Coffee Washing Station

様々な果実味が飲む毎に押し寄せる、ルワンダの真骨頂

ルワンダ Aカリシンビ水洗工場
標高:約1,800-2,000M
土壌：火山性、片岩、砂岩
精製：フリーウォッシュト アフリカンベッド
年間降雨量：約1300mm（雨季年3回）
種類：アラビカ・ブルボン
グレード：A1, +85 and over
テイスト：スーパークリーンカップ、
フローラル、グレープフルーツ、
レッドチェリー、桃・スモモ、etc

Karisimbi (カリシンビ)CWSはルワンダの北部にあるギクンビ地区、標高2,000mを超える高地に存在するウォッシン グステーション（水洗工場）。ルワンダとコンゴの国境に位置する、標高4507mの非活火山カリシンビ山の名前に由来する。かつてウォッシングステーションを運営していた前オーナーの手を離れ、ルワンダを代表する女性起業家、ダラス・インベストメント社の Immy Kamarade 氏により経営を再開。2014年には新たな苗木を植え、少しずつ生産量を増やしてきました。Immy Kamarade氏は女性だけの組合をつくるなど、女性労働者の生活水準の向上をはかる活動も積極的に行っています。カリシンビでは、一粒一粒のコーヒー豆を丁寧に手摘みで収穫後、精製を行い出荷します。最も顕著な特徴は、火山灰土壌 の影響を受けたクリーンカップであること。標高が高く、発酵作業を行う夜間に温度が下がるため、発酵速度が抑えられて 非常に上品な酸味を生み出しています。現在は主としてオーガニックで栽培され、将来は完全な有機栽培を目指しています。

今、世界的に大躍進をとげている、ルワンダのコーヒーには大きな希望が詰まっています。国と農家が一丸となり、生産向上に努める仕組みができています。まずウオッシングステーションに国が最新鋭の設備を投資し、それを見た農家たちが、コーヒーの栽培を始め、「収入が、以前の10倍になった。」との声も多い。美味しいものを作って世界に認められて、収入が10倍になり、家族と分かち合う。こんな希望は他の産地にはないだろう。今回は2018年のCOEを受賞した水洗工場の、特に品質が良いNo.1サイトのスペシャルティを、私たちもフェアトレードで年間契約。悲しい歴史のあとに生まれた、新しい命の息吹を感じてほしい。